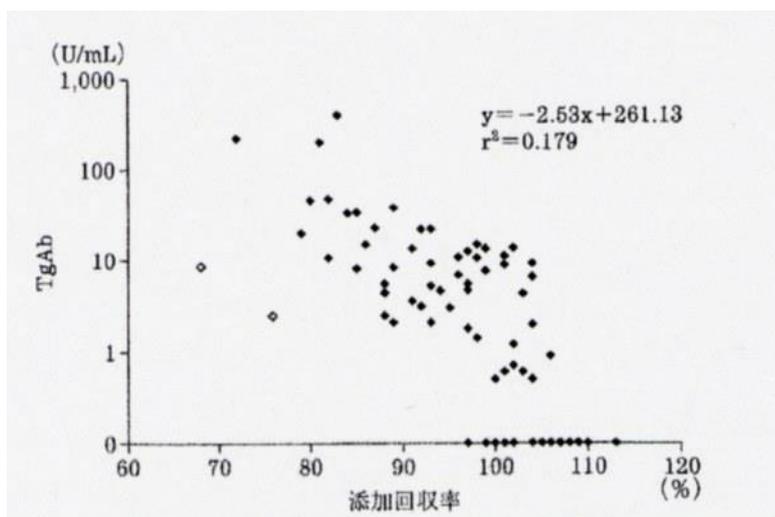


# Lab News

## テーマ “サイログロブリン値の抗サイログロブリン抗体の影響”

抗サイログロブリン抗体(以下抗 Tg抗体)陽性の検体では、サイログロブリン(以下 Tg)値が偽低値を示すことがあります。よって Tg 測定時には抗 Tg 抗体を同時に測定し、抗体が陽性の場合には Tg 値が偽低値である可能性を考慮する必要があります。現在国内で販売されている Tg 試薬は、自己抗体の影響をかなり回避できるよう工夫されていますが、それでも影響がみられます。

当院検査部が採用しているエクルーシス試薬 Tgにおいては、抗 Tg抗体の存在についての詳細な検討が行われています。抗 Tg抗体陰性例では Tg 回収率は  $104.8 \pm 4.3\%$ 、抗 Tg 抗体弱陽性例(0.4~10.0U/ml)では  $95.2 \pm 8.4\%$ 、抗 Tg 抗体中等陽性例(10.1~50.0U/ml)では  $90.6 \pm 7.5\%$ 、抗 Tg抗体強陽性例( $\geq 50.1$ U/ml)では  $76.3 \pm 6.8\%$ でした。しかしながら抗 Tg抗体価が 1.3、7.8U/ml 程度であっても回収率が 76%、68%と顕著に低下した例もあり、Tg 回収率と抗 Tg抗体価の間には相関関係は認められていません。また、抗 Tg抗体陽性検体に Tg を添加した回収実験で、抗 Tg抗体価 10U/ml 以下では 90%以上と影響は少なく、高値でも 70%以下の回収率にはならず、精製抗 Tg抗体 IgG の添加でも前値の 70%以下にはならなかったと報告されています。下図は、Tg 添加回収率と抗 Tg抗体との関係です。 $R^2=0.179$  であり、相関性がありません。



### 文献

- 1) 武田京子: ホルモンと臨床 Vol.59, 517,2011
- 2) 森田新二、他: 医学と薬学 49(5), 797,2003
- 3) 才木康彦、他: 医学と薬学 48(5),879,2002

### <まとめ>

1. 抗 Tg抗体陽性の検体では、Tg 値が偽低値を示すことがある。
2. 実験上、抗 Tg抗体測定値と Tg 測定値は相関しない。